

広報 いわねる

昭和62年

1/1

第297号

発行／新潟県岩室村役場

岩室 みてもある記

42

「御神木」

和納八幡神社

和納八幡神社境内に大きく枝を広げるこのけやきは、樹齢八百年とも千二百年ともいわれる大けやき。幹のまわりが八咫ちよつと。両手を上げて踊る姿のように広がる枝を支える太い幹は地上五尺の部分で二つに分かれている。本来三本の枝が出ていたようだが、中央部のは切り落とされている。このけやき、八幡神社の御神木とされ、幹中ほどに締め縄を威厳ありそうに付けている。ところで、けやきは落葉樹のため、毎秋、落ち葉の清掃に近くの本田ツイさん(82歳)が通う。「もう十九年にもなりますか」と愛用の竹ぼうきをふるう。人びとの愛着にはぐくまれ、百年単位の年輪を刻んできた大けやき。悠久に連なる長い歴史を語りかけながらきょうもたたずんでいる。



▲大けやき(御神木)脇の高札には、「老木やまた来る春も参ると」と書かれている。なかなか味があっていい句だ。(12月3日撮影)



岩室村の人口
(12月1日現在)

■ 男 4,810人 (+1)	■ 女 5,327人 (+1)	■ 合計 10,137人 (+2)
■ 世帯数 2,543世帯 (+2)		(住民基本台帳による)